

# 平成26年度予算見積調書

課室名：農業支援課  
 担当名：普及活動担当  
 内線：4048

(単位：千円)

番号	事業名			会計	款	項	目	説明事業
B37	農業の6次産業化支援事業			一般会計	農林水産業費	農業費	農業経営普及費	普及活動推進費
事業期間	平成25年度～平成28年度	根拠法令	農業改良助長法、地域資源を活用した農林漁業等による新事業の創出等及び地域の農林水産物の利用促進に関する法律	戦略項目	08	埼玉農業の競争力強化		
				分野施策	030201	収益力ある農業の確立		
<b>1 事業の概要</b> 農業の6次産業化に取り組む農業経営体の発展段階に 応じて、戦略的かつ実践的な支援を行い、農業経営の多 角化と強化を図ることで、収益力向上と地域振興を目指 す。  (1) 6次産業化経営革新支援事業 8,776千円 (2) 6次産業化研究会事業 3,148千円 (3) 6次産業化実践支援事業 1,957千円 (4) 6次産業化支援体制整備事業 6,841千円				<b>5 事業説明</b> (1) 事業内容 ア 6次産業化経営革新支援事業 8,776千円 地区相談会や経営実務研修、個別コンサルティングを実施する過程で6次産業化に取り組もうとする農業者等 の経営志向を明確化させ、経営タイプ別の専門的支援を行うことで、経営能力を向上させる。 イ 6次産業化研究会事業 3,148千円 農業者、食品事業者、流通業者、金融関係者等からなる4つのテーマ別6次産業化研究会及び3つの地区別6 次産業化研究会を設置し、商品開発や販売戦略の検討、現地視察や実習を実施する。 ウ 6次産業化実践支援事業 1,957千円 上記研究会の検討結果を踏まえて、更なる成長が期待される農業者等に対し、普及指導員や専門家による技 術指導や商品開発・販路開拓の実践を支援する。 エ 6次産業化支援体制整備事業 6,841千円 国の支援制度の活用に向けたネットワーク構築や総合化事業計画の作成支援及びフォローアップを行うとともに に、地域ぐるみの取組を行う市町村等への経費助成を行う。				
<b>2 事業主体及び負担区分</b> (1) (県10/10) (2) (国1/2・県1/2) (3) (県10/10) (4) (国定額)、(国1/2・県0)市町村・農業者等1/2				<b>(2) 事業計画</b> ア 目標 経営革新を意識した戦略的な6次産業化を農業者に定着させ、収益力を高める。 イ 達成水準 経営ビジョン策定件数 100件(平成28年度まで) 6次産業化による新商品の開発 100品目(平成27年度まで 毎年度10品目) 重点支援対象12事業者の農産加工品年間販売額 1.2億円 2億円(平成27年度まで) 六次産業化法に基づく総合化事業計画の作成 15件(平成28年度まで)				
<b>3 地方財政措置の状況</b> 普通交付税(単位費用) (区分) 農業行政費 (細目) 活性化推進事業費 (細節) 活性化推進事業費				ウ 計画 5月～3月 地区相談会、集合研修、個別コンサルティング 5月～3月 研究会における先進事例の研究、戦略の検討、関係者のマッチング 4月～3月 普及指導員による総合支援の実施 4月～3月 総合化事業計画作成及びフォローアップ、市町村等への助成				
<b>4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員</b> 9,500千円×9人=85,500千円								
<b>財 源 内 訳</b>								
予算額		国庫支出金			一般財源		前年との対比	
決定額	20,722	8,415				12,307	14,330	
前年額	6,392	2,058				4,334		